

足立区立保木間小学校

校長 金泉 隆一 様

開かれた学校づくり協議会

会長 漆坂 政子

令和5年度 学校関係者評価報告書

1 自己評価書全般について

「学力向上」「規律ある行動・健康な体づくり」「豊かな心の育成」のためにはどうすればよいかの分析をし、しっかりとした取組がなされ、教職員の工夫と地道な努力が伺えます。着実に児童の取り組む意欲が高まり、力となっています。「笑顔耀く保木間小学校」を目標に引き続き「保木間小学校の子どものために」学校、保護者、地域が連携していきたいと思えます。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

基礎的・基本的な学習の定着のため、「保木間タイム」「放課後補充教室（びかスタ）」「サマースクール」「授業力向上」「ICTの活用」「家庭学習の定着」など教職員の授業力向上も含めて色々な取り組みを計画し、実行しています。昨年度から取り組まれた「放課後補充教室（びかスタ）」では、児童の意欲、自信につながり結果も出ています。また、「授業力向上カフェ」は、教員独自の発案で実施している授業力向上のための学習会だと聞き、感心しています。保護者による学校教育アンケートでは、「授業に工夫が見られ、わかりやすい授業が行われている」の項目で84.3%の肯定的な評価です。学力向上の取組が成果を出しています。また「教員は児童の良さや努力を認め、ほめたり励ましたりしている」93.2%の高評価でした。教員は、児童の良さや頑張りを認める児童理解に励み、そして授業力向上に努めています。今後も、教員としての資質を高める姿勢を大切にしていきたいです。

【規律ある行動・健康な体づくり】

学校教育アンケートでは、「児童は、授業中学習のきまり（チャイム着席・姿勢・話し方・聞き方・ノート指導）を守り、家庭でも学習をしっかりしている」の項目は、87.6%の肯定的な評価でした。学級や学年で違いのない、学校全体で統一したきまりがあることで、児童にとって戸惑いのない、安心した教育環境となります。「学校は、体力向上に向けた教育活動（外遊びの奨励、エンジョイタイム（全校遊び）、短縄・長縄チャレンジ、ジョギング週間、遊具を活用した体力向上等）に年間を通じて取り組んでいる。」の項目は、89.9%の肯定的な評価でした。体力調査の分析と関連させて、今後は体力向上に向けて取り組んでほしいです。

保護者や地域など来校者への挨拶はよくできています。「児童は、きちんとあいさつや返事をしている。」の項目では、95.5%の高評価となっています。学校の特色であるたてわり班による「あいさつ運動」が機能していると感じています。昨年からはじめた全校学習がとてもよい取組で、思考力・判断力・表現力を高めたり、多様性を認める心、おもいやりやリーダーシップ等の非認知能力を高めたりする上でも、成果となっています。挨拶はコミュニケーションにおいて基本であり、最も大切にしなければならないものだと考えています。道徳授業もしっかりとできていますので、あいさつは学校だけでは身につかないもので家庭、地域の力も必須だと感じます。日頃から挨拶や校長先生の大切にしている礼儀や「ありがとう」の言葉が自然にできるような相手を思いやるあたたかな人間関係が育まれるよう学校・保護者・地域が連携して協力していければと思います。

【豊かな心の育成】

豊かな心をはぐくむために、読書に親しませようとした取組についての項目「児童は、授業で学校図書館を活用して学習したり、調べたり、また進んで読書したりしている。」の肯定的評価は、71.9%でした。「あまり達成していない」が、19.1%と他の項目に比べて数値が高いと感じます。保木間小学校は、図書ボランティアの読み聞かせ、読書月間の取組、図書支援員との連携など、意欲的に読書活動の推進に向けて取り組んでいますが、保護者にあまり伝わっていないようです。児童の自己評価「生活振り返りカード」によると、4月に比べて11月は「よくがんばった」の数値が増えているので、児童にとっては実感もあり、充実していると考えます。今後は、保木間小学校の読書への取組をホームページや学校公開、お便りなどでアピールしたり、PTAと連携して保護者への啓発を行ったりするなどはいかがでしょうか。10月の読書月間には、「先生のおすすめの本」を図書室に掲示しました。児童が本好きになるために、「いつも手元に一冊の本を！」をスローガンとしているような取組をしています。「〇〇先生の好きな本」として、おすすめの本が理由とともに、図書室の後ろに展示もあり、保護者が図書室に来室する機会を増やしていくことも必要です。また、地域の図書室に親子で通うことも、家庭でできることです。親子で読書をしていくことも、本好きになる児童を増やすことにもつながると考えます。次年度は、先生のおすすめの本を児童が選んで聞きに行き、先生が読み聞かせをする「読書バイキング」を計画しているそうですので、今後は楽しみです。

【家庭・地域との連携】

「学校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年だより、学校メールやホームページを活用してわかりやすく伝えている。」については、肯定的評価95.5%でした。H&Sになったことで、写真やお便りなどが以前と比べて容量の大きいデータを配信できるようになりました。「創立65周年記念運動会特別号」の配信は、写真が豊富で、児童の活動の様子がよく伝わりました。学校の活動を保護者に伝えていただけると、保護者は安心しますし、学校への信頼につながります。「学校は学校公開や行事など、保護者の学校への参加の機会を積極的に設けている」の項目は、97.7%の肯定的評価でした。学校に保護者が足を運んで、実際に児童の活躍を目にする機会が多くあるのはとてもよいことですが、保護者から学校への感想が少ないと聞いています。学校の教育活動への保護者の感想は、教職員の皆様にとっての今後の励みになります。先生方にとっても、保護者の応援や励ましがあることで、日々の教育活動への意欲につながりますので、保護者の感想が増えるとよいと考えます。「創立65周年記念運動会特別号」にも、保護者の声が多く掲載してありました。この欄を見て、感想を述べていない保護者が、感想を届けようという気持ちになってくれることを願います。

3 その他

創立65周年記念児童集会を実施したことは、児童にとって大きな思い出づくりとなり、個々の成長につながっていると感じます。保木間小学校の歴史に触れ、また将来、思い出に残る児童集会になりました。昔の保木間小学校・保木間地域の様子を、卒業生の「ふちえ幼稚園園長の古庄様」からお話を聞くことで、今と昔を比べて児童は思いを馳せることができました。昔の保木間小学校の様子をスライドで6年生が発表していました。最高学年としての6年生の態度が立派でした。そのスライドをもとにして、代表委員が保木間小学校クイズを出すことで、スライドの内容の理解につながりました。保木間小学校の特色の「全校学習」を初めて見ました。たてわり班の児童の仲のよさが伝わり、また全校児童によるダイナミックな学び合いが分かりました。テーマ「未来の保木間小学校！」はおもしろい取組です。地域にとっても思い出に残る児童集会になりました。PTAと開かれた学校づくり協議会からお祝いとして、わかばちゃん入りのハンドタオルと創立65周年記念航空写真のクリアファイルを児童に渡しました。児童が主体的に考え行動した集会は、素晴らしいことだと感動しました。

保木間小学校の様々な教育活動は、児童の健やかな成長と活躍の場を広げています。開かれた学校づくり協議会としても引き続き学校・保護者と連携し、進化し続ける保木間小学校となるよう協力していきたいと思えます。